

地下水盆の管理

Management of Groundwater

長瀬 和雄[1]

Kazuo Nagase[1]

[1] 長瀬技術士研究所

[1] NAGASE Hydrogeologic Office

日本における地下水利用は早い者勝ちの感がある。地下水の利用は初めは放置されているが、地下水の枯渇、塩水化、地盤沈下などの地下水障害がおきると条例等の法律で地下水の利用が制限あるいは禁止される。多くの場合それまでの地下水利用者は既得権として多かれ少なかれ地下水の利用が認められる。地下水は水循環の1つの過程にあって、その地域の地質や生物と密接な関係にある。地下水盆（地下水流域）において地下水はその地下水盆の上に生活する人々およびすべての生物にとって最も有効に活用されるべきである。湧水の保全はその地域に生活する人々と地域の自然（生命）との共生という視点で最も真摯に対応しなくてはならないことがらである。

参考文献

長瀬和雄（2002）：「これで良いのか三島の湧水、富士山の地下水の現状と今後の問題」講演論文集 26-49

Kazuo Nagase, Morio Ino, Ryuichi Tsuchi, Satoshi Koshimizu, Naotatsu Shikazono, Toichiro Maekawa, Masanao Furukawa, Yoshito Arihara, Kenji Ito, Shin Takeda(2004):Management of the Groundwater around Mt. Fuji and Hadano Basin, XXX IAH,Zacatecas Mexico

